

出題分析		
試験時間 60 分	配点 50 点	大問数 4 題
分量 (昨年比較) [減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/>	難易度変化 (昨年比較) [易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化 <input type="checkbox"/>	
<b>【概評】</b> 設問数は大問 4 題，全 50 問で昨年と変わらなかった。すべて記号選択問題である点も昨年と同様であった。地域的には，大問 1 と 2 は西洋史，大問 3 と大問 4 は東洋史から出題された点も昨年と同じ。比較的解きやすい問題も複数あった一方で，細かい知識を問う問題が多く，難化したと言える。なお，ここ数年に渡り問題の作りが粗く改善が無いのは残念である。		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
1	世界史上の経済を中心とした歴史	古代から近世のヨーロッパ史を中心に問われた。(3) d, アップピア街道は早大では頻出事項。(7) ①, フランチェスコ会の成立は 13 世紀。(8) a, ボローニャ大学が自治を認められた 12 世紀を成立年とみなせば正文とも取れる。c, スコラは「学校」を指すが，大学も学校の一種であると考えるのが自然とみなせば正文とも取れる。(9) b, コーヒーの原産地がアメリカ大陸ではないことは知っておきたい。(10) ①, セビリャは海に面してはいないが，川沿いに位置し大西洋交易で繁栄した。(12) ブクサールの戦いは細かい。イギリスのインド植民地化の過程は地図とともに押さえておきたい。	やや難
2	国連安全保障理事会における拒否権	現代史を中心に問われた。(2) b, ノモンハン事件はモンゴル人民共和国と満洲国の国境付近で起こった。(3) ソ連解体までの出来事を並び替える問題。エリツィンのロシア共和国大統領就任が共産党保守派によるクーデタよりも前であることは細かい事項。(4) c, ナジ=イムレについての文だが，カーダールを知らないと選びにくいだろう。(5) b, シリアが正式に独立するのは 1946 年。(6)・(12) の正誤判定は細かいが，全て正しい文。	やや難

設問別講評			
3	騎馬遊牧民の活動	<p>古代からモンゴル帝国までの東洋史から出題された。(1) c, 武帝が汗血馬を求めたのは大宛で, タリム盆地より西側の西トルキスタン。(6) d, 前秦はチベット系の氏による王朝だが細かい。</p> <p>(13) b, 授時暦はイスラーム天文学の影響を受けた太陰太陽暦。a, 『混一疆理歴代国都之図』の作成は1402年で元滅亡後なので, モンゴル帝国成立による東西交流の活発化と結びつけるのはやや無理がある。なお, この地図は2025年の商学部でも出題されている。c, 染付の起源ははっきりしないが, 宋代までには生まれているとする説もある。ただし, 「イランのコバルト顔料によって絵付けをした」染付が元代に生まれたと考えれば正文となる。</p>	やや難
4	東アジアの変革	<p>近代東アジア史から出題された。(3)・(11)の両方で壬午軍乱と甲申政変が出てきて戸惑うが, 19世紀から20世紀初頭にかけての朝鮮史を把握できていれば問題なく解けただろう。なお,</p> <p>(11) aは, 伊藤博文は安重根に暗殺されたとき既に韓国統監を退いていたので, 戸惑った受験生もいただろう。時代整序問題なので解くことはできただろうが, 正誤判定であれば, 複数正解や解無しも有り得た。なお, 昨年も全く同じ指摘をしている。(5) a, 九龍半島南端部は1860年の北京条約でイギリスに割譲された。c, 香港の自治については, 1984年の英中共同声明で香港返還とともに「一国二制度」が決定されており, 文を1997年に定められたと取れば誤文ともみなせる。(9) 選択肢はすべてナショナリズムに関連するものであり, 読解で判別するのは困難。一部の教科書には梁啓超の言葉としてa, b, dが引用されており, それを知っているかどうか問われる問題となっており, 他社の教科書使用者には不利だった。</p>	やや難

#### 合格のための学習法

難化傾向が続いているが、標準的なものも多く見られるため、基本的な知識を確実に押さえておきたい。出題形式は4択の正誤判定問題が中心である。演習を重ねておきたい。今年も全て記号選択問題であったが、今後傾向が変化する可能性もある。書いて覚える習慣もつけておこう。また、現代史や地理的な知識が問われることもあるので、対策を欠かさないようにしよう。一方で、ここ数年に渡って出題ミスが続けている学部なので、本番は疑問に思う箇所があっても、拘泥して時間を取られることがないようにしたい。